corega

CG-HDC2EU3100
取扱説明書

Contents

お使いになる前にお読みください 1

設置と接続 2

本商品の設定方法 3

Q&A Q&A

Y613-20251-00 Rev.B

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明

⚠警告 **この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**

⚠注意 **この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

絵記号の説明

この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。
例）

「分解禁止」

この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。
例）

「電源プラグをコンセントから抜く」

⚠警告

家庭用電源（AC100V）以外の電源は使用しないでください。
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

付属の電源ケーブルまたは AC アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源ケーブルまたはACアダプタをほかの機器に使用しないでください。
感電、発煙、火災、故障の原因となります。

⚠警告

電源ケーブルを傷つけたり、加工したり、引っ張ったりしないでください。
電源ケーブルに重いものを載せたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し、感電、火災の原因となります。
また、電源ケーブルが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると、感電、火災の原因となります。
電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜くときは、電源ケーブルを引っ張って抜かないでください。

電源ケーブルまたは AC アダプタのたこ足配線はしないでください。
発熱して火災の原因となります。

アース線またはアース端子を接続してください。
本商品または電源ケーブルにアース線またはアース端子が付いている場合は、アース線またはアース端子を接続してください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）を分解したり、改造したりしないでください。
感電、けが、火災、故障の原因となります。

煙が出たり、変な臭いがしたら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）から異常音がしたり、ケースが熱くなっている状態のまま使用すると、感電、火災の原因となることがあります。すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

本商品（AC アダプタを含む）の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら使用を中止し、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

濡れた手で本商品（AC アダプタを含む）を扱わないでください。
感電の原因となります。

⚠警告

雷のときは本商品（AC アダプタを含む）や接続されているケーブル類に触らないでください。
感電の原因となります。

小さなお子様の手の届く場所に設置したり、使用したりしないでください。
感電やけがを引き起こす原因となる場合があります。

梱包用のビニール袋などは、小さなお子様の手の届く場所に置かないでください。
窒息する原因となります。

不安定な場所に設置したり、落としたりしないでください。万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、本商品の使用を終了してください。
そのまま使用を続けると、感電、火災の原因となります。

本商品は、一般事務および家庭での使用を目的とした商品です。
本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備・航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品を使用しないでください。本商品の故障により、社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。

⚠注意

本商品（AC アダプタを含む）を次のような状態で使用しないでください。
・多段積み
・通風孔をふさぐ
（例：ジュータン、布団、テーブルクロス、毛布などでふさぐ）
・前後左右、上部に十分なスペースがない
（例：収納棚や本棚などの場所に押し込む）
内部温度が上昇し、火災、故障の原因となります。
また、本商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きることがあります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、異臭、発煙、火災の原因となります。

⚠注意

本商品（AC アダプタを含む）を次のような場所で使用したり、保管したりしないでください。

- 直射日光のあたる場所
- 暖房器具やボイラーの近く、火気のそばなどの温度が上がる、高温になる場所（例：発熱する装置のそばなど）
- 急激な温度変化のある場所（クーラーや暖房機のそばなど、結露するような場所）
- 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- 小さな金属類がある周辺
- 風呂場やシャワー室、加湿器のそばなど水のかかる場所や湿気が多い場所
- 水などの液体がかかる場所
- 調理台のそばなど油飛びや湯気の当たるような場所
- 高温、多湿、風通しの悪い場所
- 振動が多い場所
- ほこりや粉塵の多い場所
- 強風のあたる場所
- ジュータンなどを敷いた場所（静電気障害の原因になります）
- 塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスの発生する場所
- 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所

感電、火災、故障の原因となります。
（仕様に定められた環境条件下でご使用ください）

お手入れ可能な場所に設置してください。

本商品（AC アダプタを含む）にほこりなどが付着していると、発煙、火災の原因となります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切り、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

本商品を移動するときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。

感電、火災の原因となります。

取扱説明書に従って、正しく設置してください。

不適切な設置により、放熱が妨げられると、発熱による火災の原因となります。

⚠注意

長期間使用しないときは、電源ケーブルまたは AC アダプタを電源コンセントから抜いてください。
火災の原因となります。

本商品（AC アダプタを含む）に強い衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。

静電気が発生しやすい場所に設置しないでください。
感電、故障の原因となります。

はじめに

このたびは、「CG-HDC2EU3100」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

http://corega.jp/

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

■記号について

	操作中に気をつけていただきたい内容です。 必ずお読みください。		**補足事項や参考となる情報を説明しています。**

■表記について

本商品	CG-HDC2EU3100 のことです。
「 」−「 」−「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista® Home Basic、 Microsoft® Windows Vista® Home Premium、 Microsoft® Windows Vista® Business および Microsoft® Windows Vista® Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system

※本書では、複数の OS を「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

■イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

本書の構成

本書は本商品についての情報や、設置・接続・設定方法などついて説明しています。
本書の構成は次のとおりです。

■第 1 章　お使いになる前にお読みください

本商品の特長、各部の名称と働きなどについて説明します。

■第 2 章　設置と接続

この章では、本商品の設置方法と接続手順について説明します。

■第 3 章　本商品の設定方法

本商品を活用するための設定方法について説明します。

■第 4 章　Q&A

トラブルの対処方法やよくある質問について説明します。

■付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内などを記載しています。

付属品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが付属されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- □ CG-HDC2EU3100 本体
- □ AC アダプタ（1.2m）
- □ 電源ケーブル（2 極アンチトラッキング対応 1m）
- □ USB ケーブル（1m）
- □ eSATA ケーブル（1m）
- □ eSATA ブラケット（45cm）
- □ ロープロファイルPCI対応ブラケット
- □ ハードディスク固定用ネジ ×10
- □ ケース固定用ドライバ
- □ 取扱説明書（本書）
- □ 製品保証書

動作環境

本商品は、以下のハードウェア環境を持つパソコンで使用できます。

■対応パソコン

・eSATA 端子を標準搭載している DOS/V パソコン
・SATA 端子を内部に標準搭載している DOS/V パソコン
（付属の eSATA ブラケットを使用）
・USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン
・USB 端子を標準搭載している Macintosh（Intel プロセッサ）

■対応 OS

・Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000
・Mac OS X 10.4 以降

注意

・自作パソコンや、本商品との接続に必要なポートを拡張ボードなどであとから増設したパソコンはサポート対象外です。
・eSATA と USB の同時接続はできません。
・USB のホットプラグは、接続する機器のコントローラに依存します。
・eSATA のホットプラグには対応していません。
・RAID コントローラを搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラを停止する必要があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
・RAID構成しているパソコンでお使いの場合や、パソコンのRAIDコントローラを停止できない場合は、USB 接続でお使いください。
・eSATA でお使いの場合は、パソコンの eSATA インタフェースがポートマルチプライヤに対応している必要があります。
・Macintosh は、USB 接続のみ対応しています。

目次

安全にお使いいただくためにお読みください 2
はじめに 7
本書の読み方 7
本書の構成 8
付属品一覧 8
動作環境 9
目次 11

第 1 章
お使いになる前にお読みください 13

1.1 本商品の特長 14
1.2 各部の名称と機能 15

第 2 章
設置と接続 21

2.1 設置と接続のながれ 22
2.2 設置する 23
2.3 ハードディスクを取り付ける 24
2.3.1 使用できるハードディスク 24
2.3.2 ハードディスクの取り付け 25
2.4 本商品を設定する 32
2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する 33
2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する 35
2.5 側面カバーを取り付ける 36
2.6 本商品を接続する 38
2.6.1 USB ケーブルで接続する 39
2.6.2 eSATA ケーブルで接続する 40
2.7 接続の確認とフォーマット 43
2.7.1 ハードディスクのフォーマット容量 43
2.7.2 Windows 7 をお使いの場合 44
2.7.3 Windows Vista をお使いの場合 46
2.7.4 Windows XP をお使いの場合 48
2.7.5 Windows 2000 の場合 51
2.7.6 Macintosh をお使いの場合 54

第３章
本商品の設定方法 57

3.1 PC 連動電源機能を設定する 58
3.2 冷却ファンコントロール機能を設定する 59
3.3 ケーブルを取り外す／電源をオフにする 61
3.3.1 USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする 61
3.3.2 eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする 66

第４章
Q&A 67

4.1 トラブル対処の方法 68
4.2 Q&A 69
4.2.1 電源がオンにならない 69
4.2.2 電源が突然オフになった 69
4.2.3 本商品を認識しない 70
4.2.4 ハードディスクを認識しない 71
4.2.5 設定を間違えた 72
4.2.6 オートリビルド（自動再構築）時のトラブル 72

付録 73

ハードディスクのモードとは 74
仕様一覧 78
保証と修理について 79

おことわり 81

第 1 章
お使いになる前にお読みください

この章では、本商品の基本情報を説明しています。

1.1　本商品の特長 14
1.2　各部の名称と機能 15

1.1　本商品の特長

本商品は、市販の 3.5 インチ SATA（シリアル ATA）ハードディスクを最大 2 台内蔵して、外付けハードディスクとして使うためのハードディスクケースです。
次のような特長があります。

・2 台のハードディスクを使った 4 つのモードに対応

2 台のハードディスクを使って、RAID 0（ストライピングモード）、RAID 1（ミラーリングモード）、JBOD（スパニングモード）、シングルモードを構築できます。

> 注意　**いかなる原因においても、本商品に取り付けたハードディスクおよび内部のデータは保証いたしません。ハードディスク内のデータは、必ずほかのメディアにバックアップしてください。**

・PC 連動電源機能搭載

接続しているパソコンの電源オン／オフに連動して、本商品をスリープモード（低消費電力モード）にできます。

> 注意　**パソコンの環境によっては連動しない場合があります。**

・冷却ファンコントロール機能搭載

内部温度に連動して自動的に冷却ファンの回転数を制御できます。

・高速 eSATA 接続に対応

パソコン内蔵用の SATA ハードディスクを、外部用 SATA(eSATA) ハードディスクとして使用できるため、内蔵ハードディスクと同等の高速転送を実現します。

> 注意　**eSATA でお使いの場合は、パソコンの eSATA インタフェースがポートマルチプライヤに対応している必要があります。**

> メモ　パソコンに eSATA 端子が搭載されていない場合でも、内部に SATA端子があれば、付属のeSATAブラケットで接続できます。

・汎用性の高い USB 2.0 接続に対応

USB 接続では、Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000、Mac OS X 10.4 以降に対応し、より多くのパソコンで使用できます。

> 注意　**eSATA と USB の同時接続はできません。**

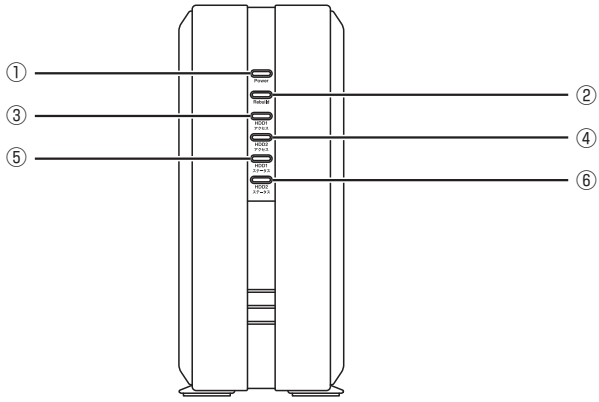
・デバイスドライバのインストールが不要

eSATA 接続、USB 接続とも OS 標準のドライバで動作するため、パソコンに接続するだけで使用できます。

1.2　各部の名称と機能

各部の名称と働きを説明します。

■前面



① Power LED

電源の状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
青	点灯	本商品の電源がオンで、次の状態です。 ・PC 連動電源機能が無効になっている ・PC 連動電源機能が有効で、本商品に接続しているパソコンの電源がオンになっている。
青	点滅	本商品の電源がオン、PC 連動電源機能が有効になっていて、次の状態です。 ・本商品に接続しているパソコンの電源がオフになっている ・本商品に接続しているパソコンがスリープモードになっている ・本商品に接続しているパソコンが休止状態になっている ・本商品がパソコンに接続されていない ☞ P.58「3.1　PC 連動電源機能を設定する」
―	消灯	本商品の電源がオンになっていません。

② Rebuild LED

本商品に取り付けたハードディスクがリビルド（再構築）中であることを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
紫	点滅	RAID をリビルド（再構築）中です。
－	消灯	ハードディスクのモードが正常に設定されています。

③ HDD1 アクセス LED

HDD1 に取り付けたハードディスクのアクセス状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点滅	ハードディスクのデータにアクセスしています。
－	消灯	ハードディスクのデータにアクセスしていません。

④ HDD2 アクセス LED

HDD2 に取り付けたハードディスクのアクセス状態を表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
橙	点滅	ハードディスクのデータにアクセスしています。
－	消灯	ハードディスクのデータにアクセスしていません。

⑤ HDD1 ステータス LED

HDD1 に取り付けたハードディスクのステータスを表示します。

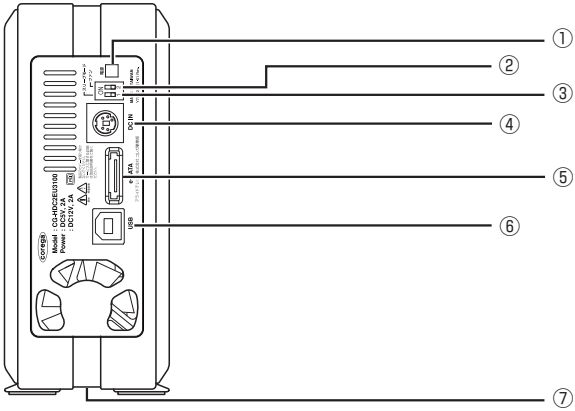
LED 表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	本商品は次のような状態です。 ・ハードディスクに障害が発生している ・ハードディスクのモード設定が正常でない ・ハードディスクが取り付けられていない
－	消灯	本商品は次のような状態です。 ・ハードディスクが正常に動作している ・ハードディスクのモード設定が正常に設定されている

⑥ HDD2 ステータス LED

HDD2 に取り付けたハードディスクのステータスを表示します。

LED 表示		本商品の状態
色	状態	
赤	点灯	本商品は次のような状態です。 ・ハードディスクに障害が発生している ・ハードディスクのモード設定が正常でない ・ハードディスクが取り付けられていない
－	消灯	本商品は次のような状態です。 ・ハードディスクが正常に動作している ・ハードディスクのモード設定が正常に設定されている

■背面



①電源ボタン

電源をオン／オフします。

電源オン：電源がオフの状態で、電源ボタンを押します。

電源オフ：電源がオンの状態で、電源ボタンを約 3 秒押します。

②ファンスイッチ

冷却ファンコントロール機能を設定します。

ON：冷却ファンコントロール機能が有効です（初期設定）。

OFF：冷却ファンコントロール機能が無効です。

☞ P.59 「3.2 冷却ファンコントロール機能を設定する」

③スリープモードスイッチ

PC 連動電源機能を設定します。

ON：PC 連動電源機能が有効です。

OFF：PC 連動電源機能が無効です（初期設定）。

☞ P.58 「3.1 PC 連動電源機能を設定する」

④ DC ジャック

AC アダプタの DC プラグを取り付けます。

注意

- **必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。**
- **本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。**
- **本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。**

⑤ eSATA ポート

eSATA ケーブルを接続します。

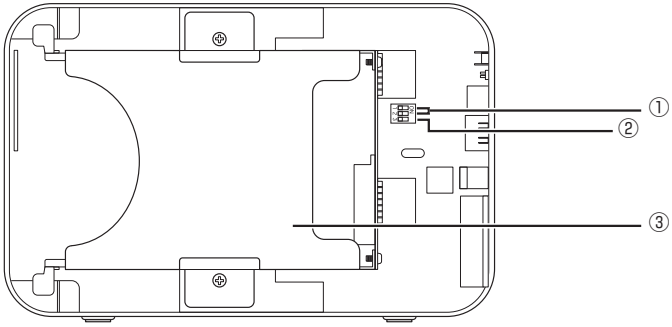
⑥ USB ポート（シリーズ B）

USB ケーブルを接続します。

⑦シリアル番号／リビジョン（底面）

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、コレガサポートセンタへのお問い合わせのときに必要となります。

■内部



①ハードディスクモード設定スイッチ

スイッチ 1、スイッチ 2 の組み合わせでハードディスクのモードを設定します。

スイッチ 1 ON ／ 2 ON　:シングルモードで動作します(初期設定)。
スイッチ 1 ON ／ 2 OFF ：スパニングモードで動作します。
スイッチ 1 OFF ／ 2 ON ：ストライピングモードで動作します。
スイッチ 1 OFF ／ 2 OFF: ミラーリングモードで動作します。

☞ P.33「2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する」

②ハードディスク容量設定スイッチ

お使いの環境に合わせて、ハードディスクの容量を設定します。

スイッチ 3 ON ：ハードディスクの容量を 2TByte に制限します。
スイッチ 3 OFF: ハードディスクの容量を制限しません (初期設定)。

☞ P.35 「2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する」

③ハードディスク固定用トレイ

ハードディスクを取り付けるための専用トレイです。

第２章
設置と接続

この章では、本商品の設置方法と接続手順について説明します。

2.1　設置と接続のながれ 22
2.2　設置する 23
2.3　ハードディスクを取り付ける 24
2.3.1　使用できるハードディスク 24
2.3.2　ハードディスクの取り付け 25
2.4　本商品を設定する 32
2.4.1　ハードディスクモード設定スイッチを設定する 33
2.4.2　ハードディスク容量設定スイッチを設定する 35
2.5　側面カバーを取り付ける 36
2.6　本商品を接続する 38
2.6.1　USB ケーブルで接続する 39
2.6.2　eSATA ケーブルで接続する 40
2.7　接続の確認とフォーマット 43
2.7.1　ハードディスクのフォーマット容量 43
2.7.2　Windows 7 をお使いの場合 44
2.7.3　Windows Vista をお使いの場合 46
2.7.4　Windows XP をお使いの場合 48
2.7.5　Windows 2000 の場合 51
2.7.6　Macintosh をお使いの場合 54

2.1　設置と接続のながれ

はじめて本商品を設定する場合は、次の手順で設定します。

STEP1	**設置する** ☞ P.23 「2.2 設置する」

STEP2	**ハードディスクを取り付ける** ☞ P.24 「2.3 ハードディスクを取り付ける」

STEP3	**ハードディスクのモードを設定する** ☞ P.32 「2.4 本商品を設定する」

STEP4	**側面カバーを取り付ける** ☞ P.36 「2.5 側面カバーを取り付ける」

STEP5	**本商品を接続する** ☞ P.38 「2.6 本商品を接続する」

STEP6	**接続の確認とフォーマット** ☞ P.43 「2.7 接続の確認とフォーマット」

2.2　設置する

本商品を設置する前に、**P.2**「安全にお使いいただくためにお読みください」を必ずお読みください。

設置については、次の点にご注意ください。

- **電源ケーブルや各メディアのケーブルに無理な力が加わるような配置は避けてください。**
- **AC アダプタは、付属の本商品専用の AC アダプタを使用してください。**
- **十分な換気ができるように、本商品背面の冷却ファンをふさがないように設置してください。**
- **本商品の上に物を置かないでください。**
- **直射日光のあたる場所、多湿な場所、ほこりの多い場所に設置しないでください。**
- **本商品を屋外で使用しないでください。**
- **コネクタの端子に触らないでください。静電気を帯びた手（体）でコネクタの端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。**
- **パソコンやモデムなど発熱する機器の近くには設置しないでください。**
- **モニタやスピーカなど磁気を帯びた機器の近くには設置しないでください。**

本商品を設置する手順を説明します。

1　デスクの上など水平な場所に設置します。

本商品に取り付けられているゴム足を下にして設置します。

以上で、設置は完了です。

引き続き、**P.24**「2.3 ハードディスクを取り付ける」をご覧ください。

2.3　ハードディスクを取り付ける

本商品で使用できるハードディスクと、取り付ける手順を説明します。

注意

- 本商品に取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。
- 本商品はハードディスクを取り付けないと使用できません。
- 本商品にハードディスクを取り付けるときには、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- 2 台のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。
- Windows XP（32bit）/2000 では、2TByte を超えるボリュームを使えません。2TByte 以下の容量に制限してお使いください。

☞ P.35「2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する」

2.3.1　使用できるハードディスク

本商品で使用できるハードディスクは次のとおりです。

・SATA（3.0Gbps、1.5Gbps）

・3.5 インチ（101.6（W）×146.6（D）×25.8（H）mm）

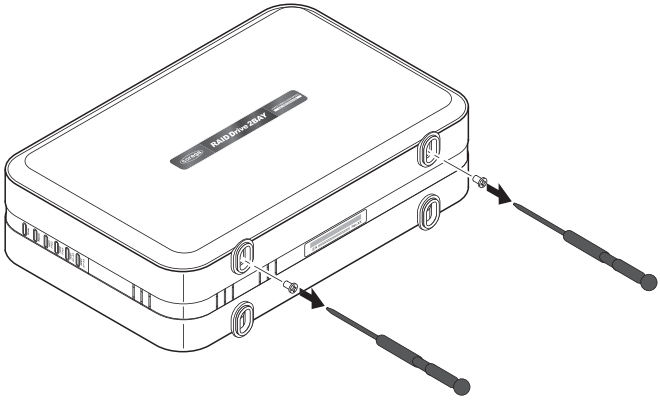
ハードディスクの取り付け方法は、**P.25**「2.3.2 ハードディスクの取り付け」をご覧ください。

2.3.2　ハードディスクの取り付け

本商品にハードディスク（別売り）を取り付ける作業を説明します。手順は 2 台のハードディスクを取り付けるときの例です。

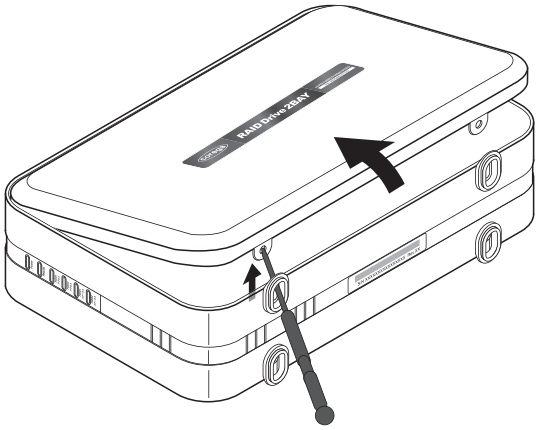
1　本商品の底面にあるネジを取り外します。

ネジはケース固定用ドライバを使って取り外します。



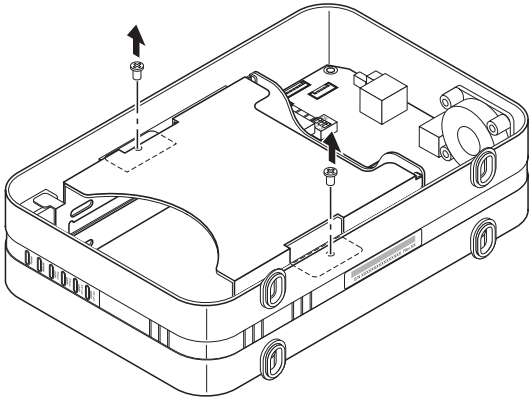
メモ　取り外したネジは元に戻すときに必要です。なくさないようにしてください。

2 ケース固定用ドライバをネジ穴に入れて持ち上げて、側面カバーを取り外します。



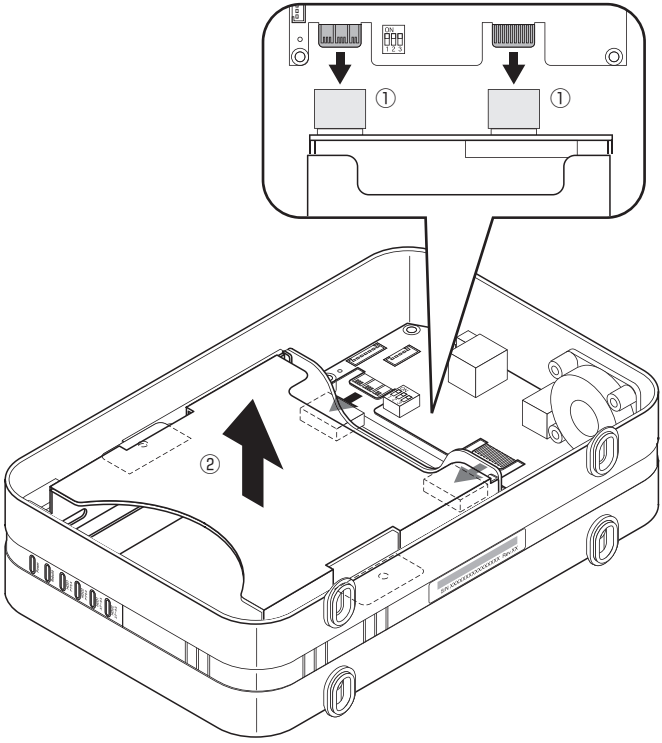
3 ハードディスク固定用トレイのネジを外します。

> 注意 ケース固定用ドライバは使用しないでください。



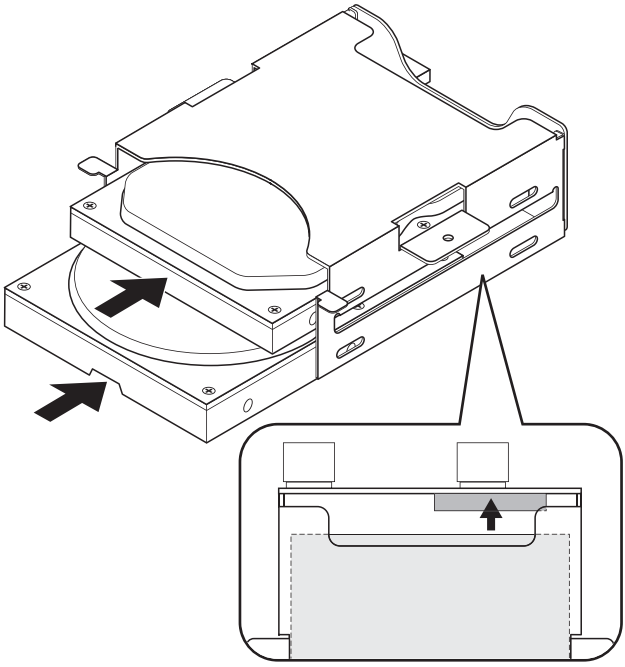
4 ハードディスク固定用トレイを①のように本体から取り外してから、②のように上へ持ち上げます。

> **注意** ハードディスク固定用トレイは、①のように必ず一度本体から取り外してから、②のように持ち上げてください。①のときに、無理に取り外そうとすると、故障の原因になります。



5 ハードディスク固定用トレイにハードディスクを取り付けます。

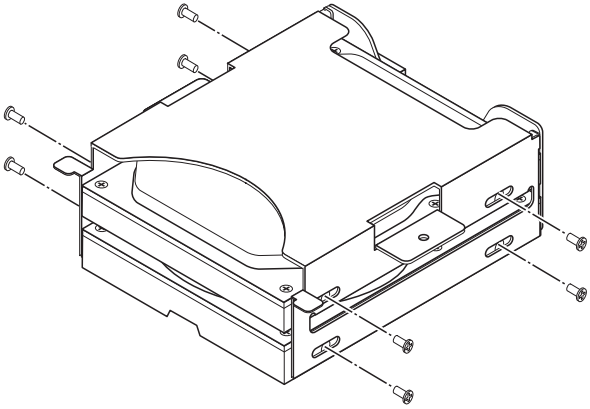
> **注意** 2台のハードディスクを使って1つのボリュームを構成する場合は、同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。



> **メモ** 画面は2台のハードディスクを取り付けるときの例です。シングルモードのときは、1 台だけ取り付けて使うこともできます。
>
> ☞ P.33 「2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する」

6 付属のハードディスク固定用ネジで、ハードディスク固定用トレイにハードディスクを固定します。

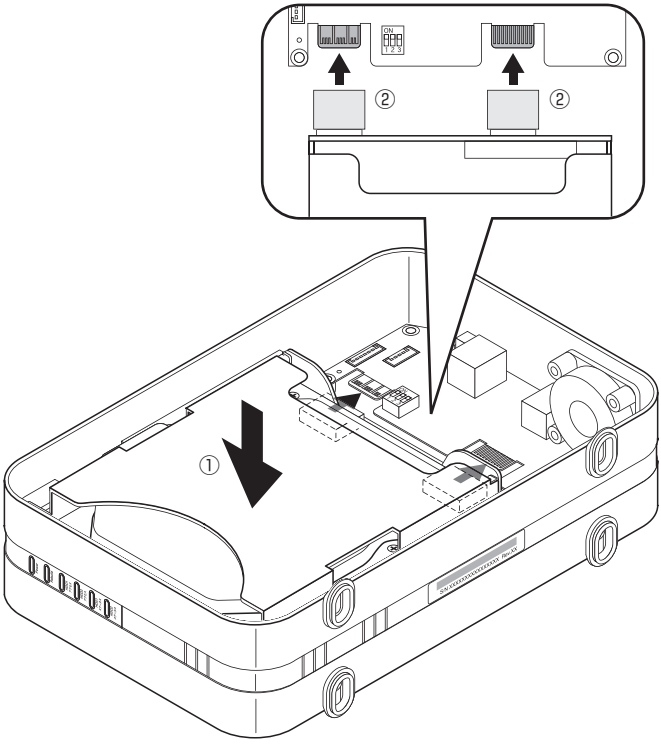
注意
- ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。
- ケース固定用ドライバは使用しないでください。



7 ハードディスク固定用トレイを元に戻します。

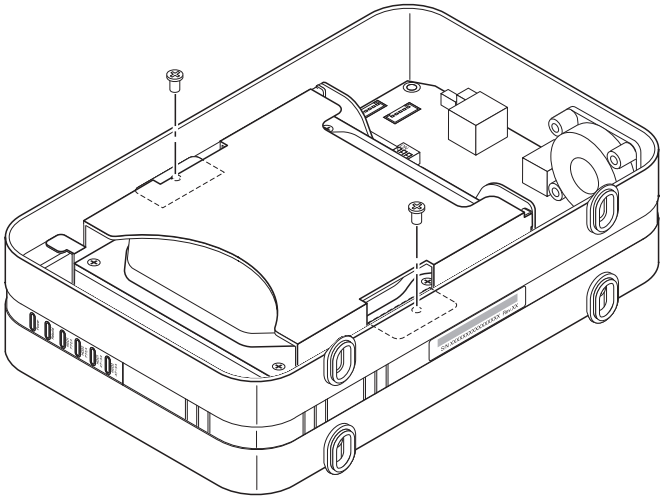
①のようにハードディスク固定用トレイを本体に戻し、②のように本体に取り付けます。

> **注意** **ハードディスク固定用トレイを無理に取り付けないでください。故障の原因になります。**



8　ハードディスク固定用トレイをネジで固定します。

注意
- ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。
- ケース固定用ドライバは使用しないでください。



以上で、ハードディスクの取り付けは完了です。
引き続き、側面カバーを取り付ける前に、本商品を設定します。
☞ P.32 「2.4 本商品を設定する」

2.4　本商品を設定する

本商品は、最大 2 台のハードディスクを取り付けて使用できます。

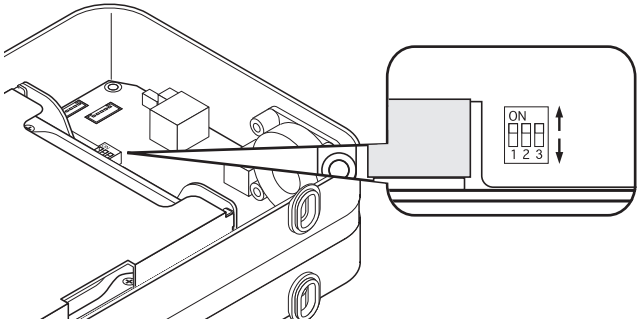
注意

- 本商品に取り付けたハードディスクは、いかなる原因においても内部のデータおよびハードディスクの保証はいたしません。あらかじめご了承ください。
- 本商品はハードディスクを取り付けないと使用できません。
- 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、本商品を設定するときに消去されます。ハードディスクのデータは、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- 設定したモードを異なるモードに変更すると、ハードディスクのデータは消去されます。ハードディスクのデータは、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- 2台のハードディスクを使って1つのボリュームを構成する場合は、同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。
- Windows XP（32bit）/2000 では、2TByte を超えるボリュームを使えません。2TByte 以下の容量に制限してお使いください。

☞ P.35「2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する」

■設定スイッチの位置

本商品を使用する前に、ハードディスクモード設定スイッチと、ハードディスク容量設定スイッチを設定します。設定スイッチは、本商品内部にあります。



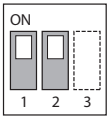
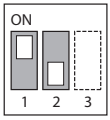
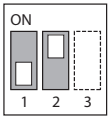
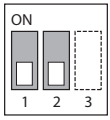
設定スイッチの設定方法は、**P.33**「2.4.1 ハードディスクモード設定スイッチを設定する」をご覧ください。

2.4.1　ハードディスクモード設定スイッチを設定する

ハードディスクモード設定スイッチを設定するには、不要になったボールペンなど先のとがったものを使用します。

スイッチ 1 とスイッチ 2 の組み合わせによって、ハードディスクのモードを設定します。

■ハードディスクモード設定スイッチの設定

ハードディスクのモード	シングルモード	スパニングモード(JBOD)	ストライピングモード(RAID 0)	ミラーリングモード(RAID 1)
ハードディスクのモード設定スイッチ				

■シングルモード

取り付けたハードディスクの台数分、個別のボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクを取り付けた場合は、2 つのボリュームが使用できます。はじめは 1 台のハードディスクだけで使用し、容量が足らなくなったらハードディスクを追加するといった使い方もできます。

ハードディスクのメーカ、型番は、同じでなくても使用できます。

ハードディスクが故障した場合は、故障したハードディスクのボリュームのみ、読み書きできなくなります。

> メモ　本商品の初期設定は、シングルモードです。

■スパニングモード（JBOD）

2 台のハードディスクを取り付けて 1 つのボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクを 1 台としますので、ハードディスクの容量は 2 台分になります。必ず 2 台のハードディスクが必要です。同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。

ハードディスクが 1 台でも故障すると、すべてのデータが読み書きできなくなります。

■ストライピングモード（RAID 0）

2 台のハードディスクを取り付けて 1 つのボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクを 1 台としますので、ハードディスクの容量は 2 台分になります。必ず 2 台のハードディスクが必要です。同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。

2 台のハードディスクに分散してデータを読み書きするため、アクセスが速くなります。

ハードディスクが 1 台でも故障すると、すべてのデータが読み書きできなくなります。

■ミラーリングモード（RAID 1）

2 台のハードディスクを取り付けて 1 つのボリュームとして使用できます。
2 台のハードディスクに同じデータを書き込むため、ハードディスクの容量は 1 台分になります。必ず 2 台のハードディスクが必要です。同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。

1 台のハードディスクが故障しても、もう 1 台のハードディスクに同じデータが書き込まれているため、故障したハードディスクを交換することで復旧できます。
オートリビルド（自動再構築）について詳しくは、**P.77**「■ オートリビルド（自動再構築）について」をご覧ください。

> **注意** **1 台のハードディスクが故障した場合、故障したハードディスクを交換して電源をオンにすることで、RAID をオートリビルド（自動再構築）します。リビルド中は本商品の電源をオフにしないでください。故障の原因になります。**

ハードディスクのモードの動作について、詳しくは、**P.74**「**付録** ハードディスクのモードとは」をご覧ください。

引き続き、**P.35** 「2.4.2 ハードディスク容量設定スイッチを設定する」をご覧ください。

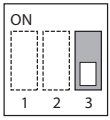
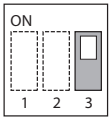
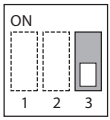
2.4.2　ハードディスク容量設定スイッチを設定する

ハードディスク容量設定スイッチは、本商品を接続するパソコンの OS や、取り付けたハードディスクの容量に合わせて設定します。
通常は「OFF（ハードディスクの容量を制限しない）」のままで使用します。
お使いの OS が Windows XP（32bit）/2000 で、ハードディスクの容量が 2TByte を超える場合に「ON（ハードディスクの容量を 2TByte に制限）」にします。ハードディスクの容量は 2TByte に制限されますが、Windows XP（32bit）/2000 で使用できるようになります。

注意

- **本商品の電源がオンになっている状態でスイッチの操作はしないでください。故障の原因になります。**
- **Windows XP（32bit）/2000 では、2TByte を超えるボリュームを使えません。2TByte 以下の容量に制限してお使いください。**

■ハードディスク容量設定スイッチの設定

お使いのOS	ハードディスクモード設定スイッチ設定後の1ボリュームの容量	ハードディスク容量設定スイッチの設定
Windows 7/Vista Mac OS X 10.4以降	2TByteを超える場合	
	2TByte以下の場合	
Windows XP/2000	2TByteを超える場合※	
	2TByte以下の場合	

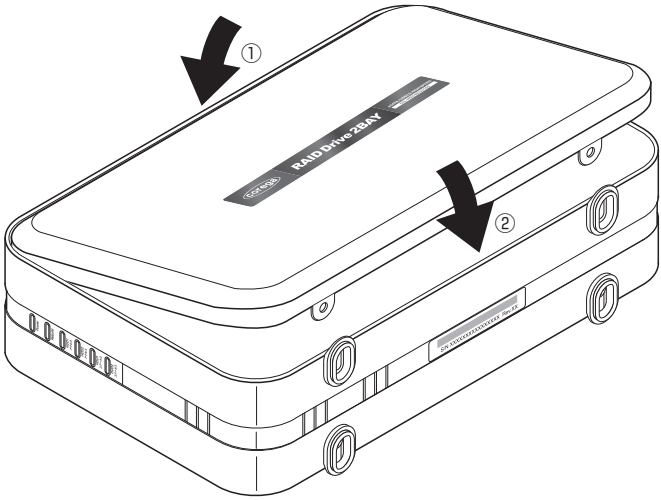
※2TByteのハードディスクとして使えます。2TByteを超える分は認識しません。

引き続き、**P.36**「2.5　側面カバーを取り付ける」をご覧ください。

2.5　側面カバーを取り付ける

ハードディスクモード設定スイッチとハードディスク容量設定スイッチの設定の完了後、側面カバーを次の手順で取り付けます。

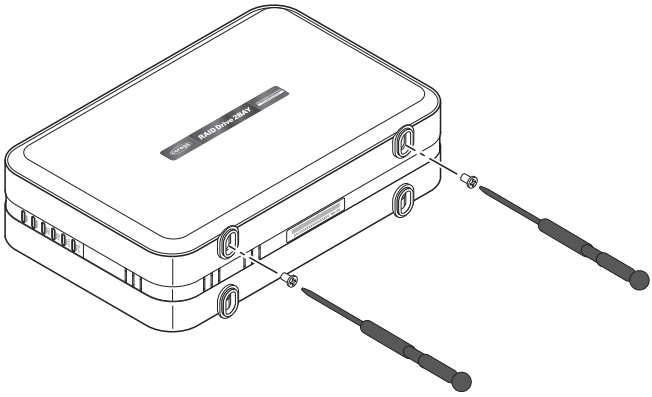
1　側面カバーの上部を本商品の上部内側のツメに引っかけてから、側面カバーを閉じます。



2 P.25「2.3.2 ハードディスクの取り付け」の手順 1 で取り外したネジ 2 本で、側面カバーを固定します。

ネジはケース固定用ドライバで固定します。

> **注意** ハードディスク固定用ネジを締め過ぎないでください。故障の原因になります。



以上で、ハードディスクの取り付けと本商品の設定は完了です。

引き続き、**P.38**「2.6 本商品を接続する」をご覧になり、本商品をお使いのパソコンに接続します。

2.6　本商品を接続する

本商品とパソコンを USB ケーブルまたは eSATA ケーブルで接続する方法を説明します。

接続方法	対応 OS	対応環境
USB 接続	Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000 Mac OS X 10.4 以降	USB 端子を標準搭載している DOS/V パソコン USB 端子を標準搭載している Macintosh（Intel プロセッサ）
eSATA 接続	Windows 7（64bit/32bit）/ Vista（32bit）/XP（32bit）/2000	eSATA 端子を標準搭載している DOS/V パソコン SATA 端子を内部に標準搭載している DOS/V パソコン

注意

- **eSATA と USB の同時接続はできません。**
- **RAID コントローラを搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラを停止する必要があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。**
- **RAID 構成しているパソコンをお使いの場合や、パソコンの RAID コントローラを停止できない場合は、USB 接続でお使いください。**
- **eSATA でお使いの場合は、パソコンの eSATA インタフェースがポートマルチプライヤに対応している必要があります。**
- **Macintosh は、USB 接続のみ対応しています。**

☞ **P.39**「2.6.1 USB ケーブルで接続する」

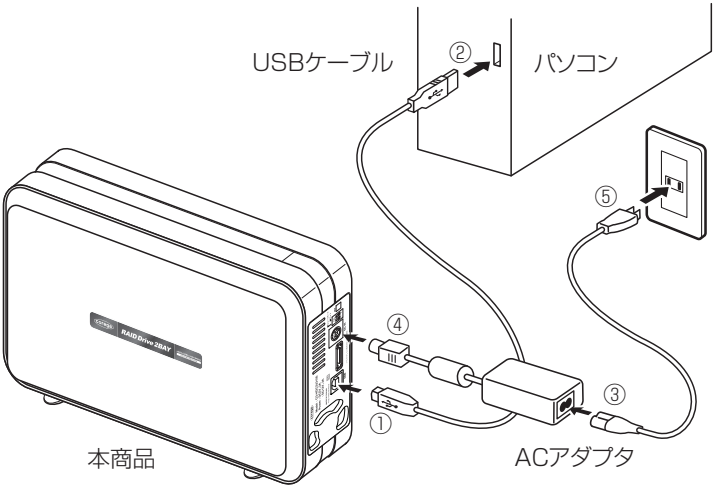
☞ **P.40**「2.6.2 eSATA ケーブルで接続する」

2.6.1　USB ケーブルで接続する

本商品とパソコンを USB ケーブルで接続する手順を説明します。

注意

- **必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。**
- **本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。**
- **本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。**
- **本商品とパソコンの電源がオフの状態で操作してください。**



1　USB ケーブルを接続します。

① USB ケーブル（シリーズ B）のコネクタを本商品に、② USB ケーブル（シリーズ A）のコネクタをパソコンに接続します。

2　AC アダプタを接続します。

③電源ケーブルを AC アダプタに接続し、④ DC プラグを本商品に接続し、⑤電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

引き続き、**P.43**「2.7　接続の確認とフォーマット」で、本商品が正常にお使いのパソコンに認識されていることを確認します。

2.6.2　eSATA ケーブルで接続する

本商品とパソコンを eSATA ケーブルで接続する手順を説明します。お使いのパソコンに eSATA 端子がある場合は、P.42「■ eSATA ケーブルの接続」に進みます。

注意
- 本商品とパソコンの電源はオフの状態で操作してください。
- RAID コントローラを搭載しているパソコンで eSATA 接続するには、パソコンの RAID コントローラを停止する必要があります。詳しくは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。
- RAID を構成しているパソコンをお使いの場合や、パソコンの RAID コントローラを停止できない場合は、USB 接続でお使いください。
  eSATA でお使いの場合は、パソコンの eSATA インタフェースがポートマルチプライヤに対応している必要があります。
- Macintosh は eSATA 接続に対応していません。

■ eSATA ブラケットの取り付け

本商品に付属の eSATA ブラケットを取り付ける手順を説明します。

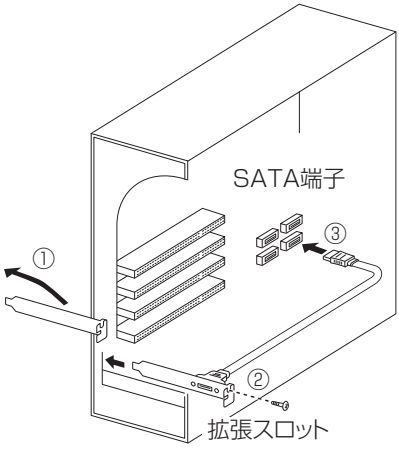
⚠警告
- パソコンに取り付ける前に、必ずパソコンの電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜いていてください。感電するおそれがあります。
- 雷が発生しているときは、取り付けないでください。落雷により感電するおそれがあります。

注意
- 取り付け前に、あらかじめほかの金属部分（水道の蛇口、ドアノブなど）に触れて体内の静電気を放電してください。このとき、ガス管など発火する危険性のあるものには、絶対に触れないようにしてください。

メモ
パソコンの本体カバーの取り外し方法または eSATA ブラケットが取り付けられるかは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

1　パソコンの電源をオフにして、パソコンの電源プラグを電源コンセントから抜き、パソコンの本体カバーを外します。

2　拡張スロットに eSATA ブラケットを取り付けます。



①拡張スロットのスロットカバーを取り外します。カバーを固定していたネジは eSATA ブラケットの取り付けに使用します。

② eSATA ブラケットをスロットカバーに取り付け、①で取り外したネジで固定します。

③メインボードの SATA 端子にケーブルを接続します。

3　パソコンのカバーを取り付けます。

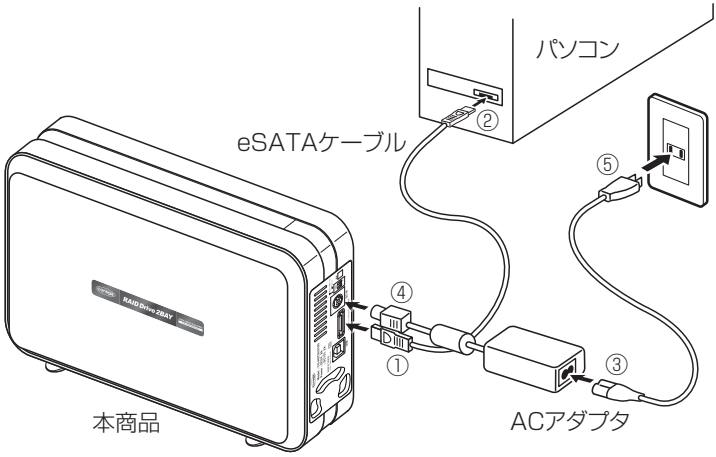
以上で、eSATA ブラケットの取り付けは完了です。

引き続き、**P.42**「■ eSATA ケーブルの接続」をご覧ください。

■ eSATA ケーブルの接続

本商品とパソコンを eSATA ケーブルで接続します。

> **注意**
> - 必ず本商品に付属の AC アダプタをお使いください。付属の AC アダプタ以外は、本商品に接続しないでください。
> - 本商品に付属の AC アダプタは、本商品以外に接続しないでください。
> - 本商品に付属の電源ケーブルは、付属の AC アダプタ以外に接続しないでください。
> - 本商品とパソコンの電源がオフの状態で操作してください。



1 eSATA ケーブルを接続します。

eSATA ケーブルの両端のコネクタを①本商品と②パソコンの eSATA ポートに接続します。

2 AC アダプタを接続します。

③電源ケーブルを AC アダプタに接続し、④ DC プラグを本商品に接続し、⑤電源プラグを電源コンセントに差し込みます。

引き続き、**P.43**「2.7 接続の確認とフォーマット」で、本商品が正常にお使いのパソコンで認識されていることを確認します。

2.7　接続の確認とフォーマット

本商品がパソコンで認識されていることを確認して、お使いの OS に合わせてハードディスクをフォーマットします。ハードディスクのフォーマット方法は、各 OS のヘルプをご覧ください。

2.7.1　ハードディスクのフォーマット容量

ハードディスクのフォーマットは、OS ごとに認識できる形式が異なります。

注意

- **ハードディスクによっては、フォーマット形式を指定している場合があります。**
- **Windows XP（32Bit）/2000 では、2TByte を超えるボリュームを使えません。2TByte 以下の容量に制限してお使いください。**
- **2TByte を超えるボリュームを Windows7（64Bit/32Bit）/ Vista（32Bit）で MBR でフォーマットしても、Windows XP（32Bit）/2000 では認識しません。**

	NTFS 形式	FAT32 形式	Mac OS 拡張形式
Windows 7/Vista	○	○※1	×
Windows XP/2000※2	○	○※1	×
Mac OS X 10.4 以降	△※3	○※1	○

※1　4GByte 以上のファイルを扱えません。

※2　フォーマット形式に関係なく、ハードディスクの容量は 2TByte までしか認識できません。

※3　読み込みのみ対応します。

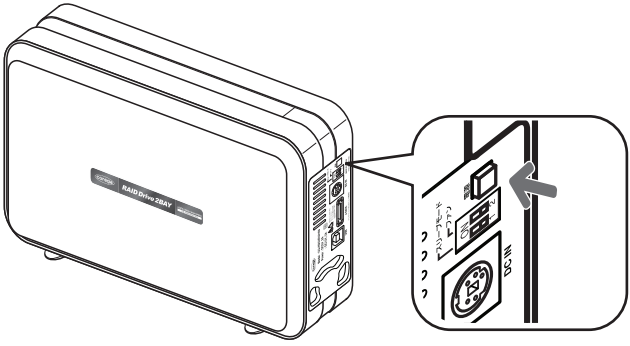
フォーマットしたあとに OS で表示されるハードディスク容量とハードディスクメーカの公称値は計算方法が異なるため、容量が少なく表示されます。

	計算方法	500GByte の ハードディスクの例
ハードディスクメーカの公称値	1GByte=1,000MByte 1MByte=1,000,000Byte	約 500GByte 約 500,000MByte
OS 上の表示	1GByte=1,024MByte 1MByte=1,048,576Byte	約 465GByte 約 476,837MByte

2.7.2　Windows 7 をお使いの場合

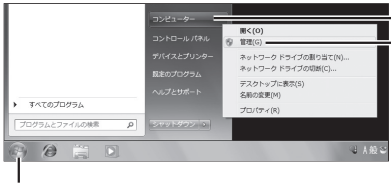
次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1　本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。



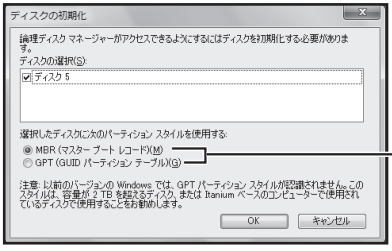
2　パソコンを起動します。

3　［スタート］をクリックし、「コンピューター」を右クリックして、「管理」をクリックします。



4 「ディスクの管理」をクリックし、「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。

「ディスクの管理」をクリックすると、次の画面が表示されることがあります。「GPT」または「MBR」を選択し、画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。

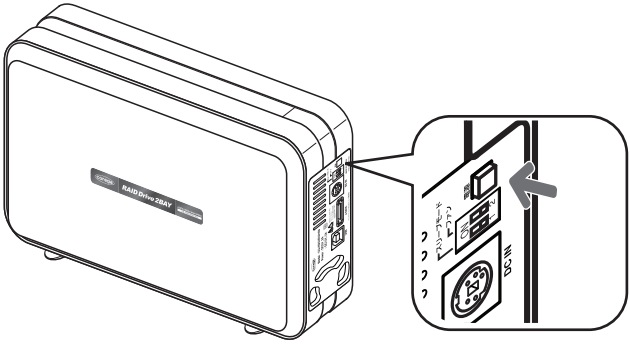


以上で、Windows 7 での確認は完了です。
引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.3 Windows Vista をお使いの場合

次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1 本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。

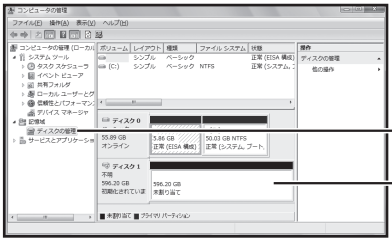


2 パソコンを起動します。

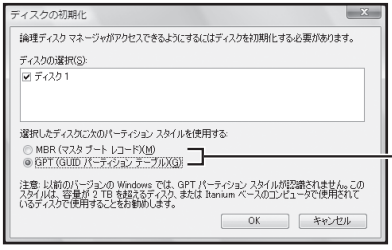
3 [スタート] をクリックし、「コンピュータ」を右クリックして、「管理」をクリックします。

4 「ユーザアカウント制御」画面で、[続行] をクリックします。

5 「ディスクの管理」をクリックし、「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。



「ディスクの管理」をクリックすると、次の画面が表示されることがあります。「GPT」または「MBR」を選択し、画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。



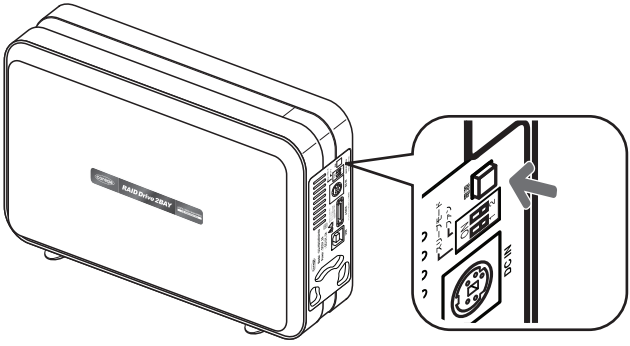
以上で、Windows Vista での確認は完了です。

引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.4 Windows XP をお使いの場合

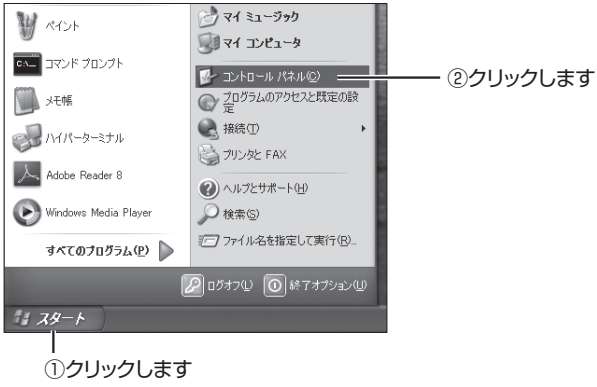
次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1 本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。



2 パソコンを起動します。

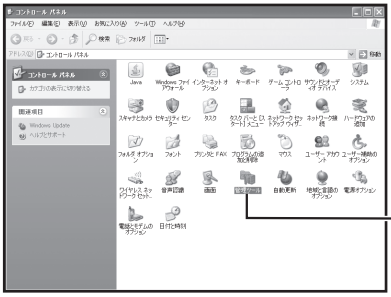
3 [スタート] −「コントロールパネル」の順にクリックします。



4 「クラシック表示に切り替える」をクリックします。

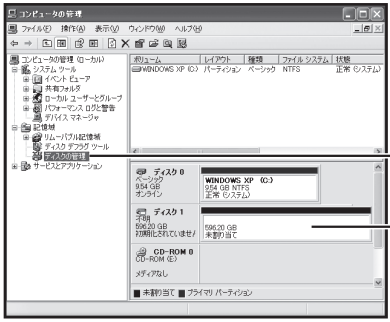
すでにクラシック表示が表示されている場合は、手順５に進みます。

5 「管理ツール」をダブルクリックします。

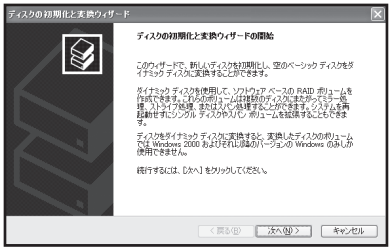


6 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。

7 「ディスクの管理」をクリックして、「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。



「ディスクの管理」をクリックすると次の画面が表示されることがあります。画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。



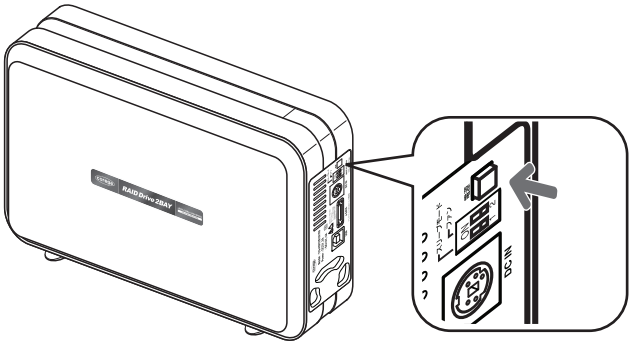
以上で、Windows XP での確認は完了です。

引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.5　Windows 2000 の場合

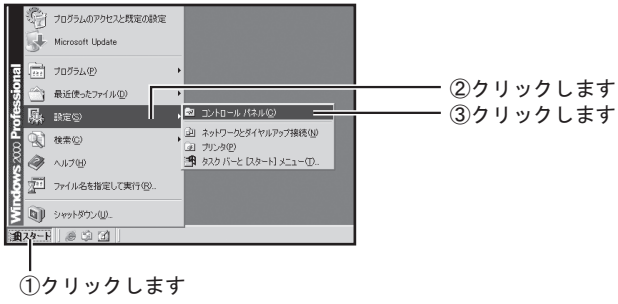
次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1　**本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。**



2　**パソコンを起動します。**

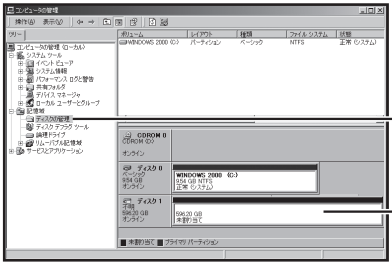
3　**［スタート］－「設定」－「コントロールパネル」の順にクリックします。**



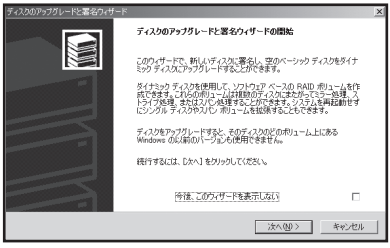
4 「管理ツール」をダブルクリックします。

5 「コンピュータの管理」をダブルクリックします。

6 「ディスクの管理」をクリックして「未割り当て」のハードディスクがあることを確認します。



「ディスクの管理」をクリックすると次の画面が表示されることがあります。画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。



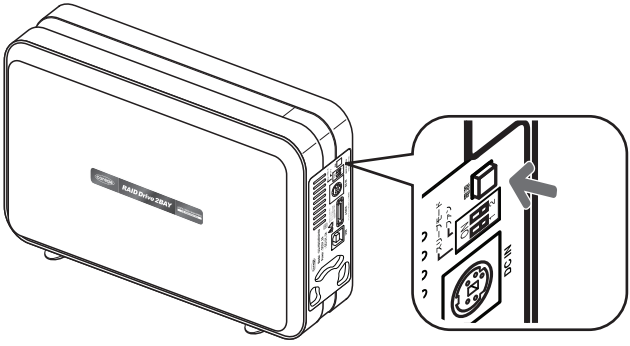
以上で、Windows 2000 での確認は完了です。

引き続き、OS のヘルプに従ってフォーマットしてください。

2.7.6 Macintosh をお使いの場合

次の手順で本商品が正常に動作していることを確認します。

1 **本商品の電源ボタンを押して電源をオンにします。**



2 **お使いのパソコンを起動します。**

3 **お使いのハードディスクによって、次のいずれかの画面が表示されます。**

未フォーマットのハードディスクを取り付けた場合

ハードディスクのモードで構成された未フォーマットのボリューム数だけ表示されます。画面の指示に従ってハードディスクをフォーマットしてください。

フォーマット済みのハードディスクを取り付けた場合

ハードディスクのモードで構成されたフォーマット済みのボリューム数だけ表示されます。

ダブルクリックしてフォーマット形式についてのメッセージが表示されたら、画面の指示に従ってハードディスクのフォーマットをしてください。

※ 画面は例です。

以上で、Macintosh での確認は完了です。

第 3 章
本商品の設定方法

本商品を活用するための設定方法について説明します。

3.1　PC 連動電源機能を設定する 58
3.2　冷却ファンコントロール機能を設定する 59
3.3　ケーブルを取り外す／電源をオフにする 61
3.3.1　USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする 61
3.3.2　eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする 66

3.1 PC 連動電源機能を設定する

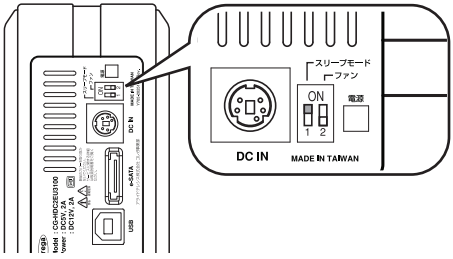
本商品に接続したパソコンの電源に連動して、本商品の電源をスリープモードにする機能です。パソコンの動作によって次の表のとおりに動作します。

> **注意**
> - PC 連動電源機能は USB 接続時のみ対応しています。
> - スリープモードスイッチを切り替えるときは、本商品の電源をオフにしてから切り替えてください。
> - パソコンの環境によっては連動しない場合があります。

パソコンの動作	本商品の動作	本商品の Power LED
電源オン→電源オフ	電源オン→スリープ	点灯（青）→点滅（青）
電源オン→休止		
電源オン→スリープ		
電源オフ→電源オン	スリープ→電源オン	点滅（青）→点灯（青）
休止　→電源オン		
スリープ→電源オン		

> **メモ**
> オートリビルド中は、リビルドが完了するまで連動しません。

1 本商品の背面にあるスリープモードスイッチをオンにします。



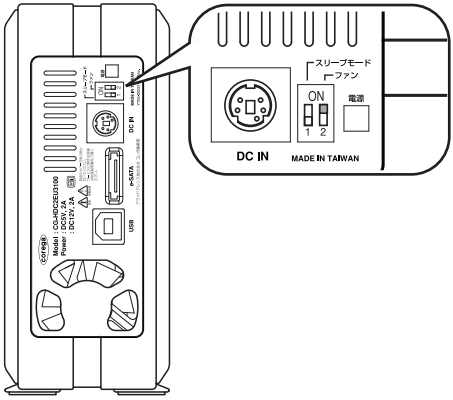
以上で、PC 連動電源機能が有効になります。

3.2　冷却ファンコントロール機能を設定する

本商品背面の冷却ファンコントロール機能を有効にすることで、本商品の内部温度によって、冷却ファンの速さが変わります。

> **注意**　ファンスイッチを切り替えるときは、本商品の電源をオフにしてから切り替えてください。

1　本商品の背面にあるファンスイッチをオンにします。



以上で、冷却ファンコントロール機能が有効になります。

冷却ファンコントロール機能の動作は、次の表をご確認ください。

■冷却ファンの回転数が上がる条件

冷却ファンコントロール機能が有効の場合、内部温度が高くなると自動的に冷却ファンの回転数が上がります。

冷却ファンスピードレベル	内部温度	冷却ファンの回転数
レベル0	—	0
レベル1	43℃以上	2400～3400rpm
レベル2	50℃以上	3400～5000rpm

■冷却ファンの回転数が下がる条件

冷却ファンコントロール機能が有効の場合、内部温度が低くなると自動的に冷却ファンの回転数が下がります。

冷却ファンスピードレベル	内部温度	冷却ファンの回転数
レベル0	40℃以下	0
レベル1	43℃以下	2400～3400rpm
レベル2	—	3400～5000rpm

3.3　ケーブルを取り外す／電源をオフにする

本商品の電源をオフにしたり、ケーブルを取り外したりするには、必ず次の手順に従ってください。

☞ P.61 「3.3.1 USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする」

☞ P.66 「3.3.2 eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする」

3.3.1　USB ケーブルを取り外す／電源をオフにする

本商品に接続している USB ケーブルをお使いのパソコンから取り外すときは、必ず次の手順に従ってください。USB ケーブルの取り外し方法はお使いの環境によって異なります。

☞ P.61 「■ Windows 7 の場合」

☞ P.62 「■ Windows Vista の場合」

☞ P.63 「■ Windows XP の場合」

☞ P.64 「■ Windows 2000 の場合」

☞ P.65 「■ Macintosh の場合」

■ Windows 7 の場合

1　画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。

※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

2　次の画面が表示されたら、本商品をパソコンから取り外します。

3 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

> **注意** 本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

■ Windows Vista の場合

1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。

※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

2 [OK] をクリックします。

3 本商品をパソコンから取り外します。

4 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

> **注意** 本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

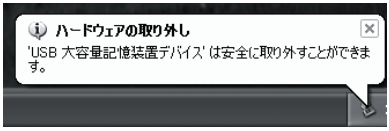
以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

■ Windows XP の場合

1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。

※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

2 次の画面が表示されたら、本商品をパソコンから取り外します。



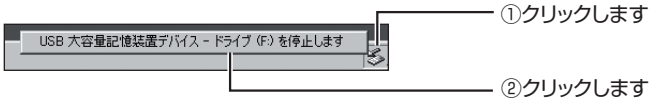
3 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

> **注意** 本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

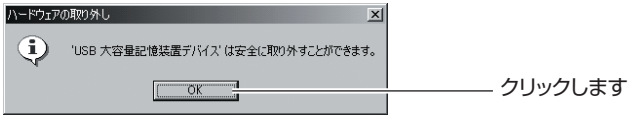
■ Windows 2000 の場合

1 画面右下の通知領域にあるアイコンをクリックして、取り外すドライブをクリックします。



※ 画面は本商品が F ドライブの場合の例です。

2 [OK] をクリックします。



3 本商品をパソコンから取り外します。

4 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

> **注意** 本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

以上で、USB ケーブルの取り外しと電源のオフは完了です。

■ Macintosh の場合

1　デスクトップにある本商品のディスクアイコンをゴミ箱に入れます。

※ 画面は例です。

> メモ　ハードディスクのモードで複数のボリュームを作成している場合は、作成したボリュームのディスクアイコンをすべてゴミ箱に入れます。

2　本商品をパソコンから取り外します。

3　本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

> **注意　本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。**

以上で、Macintosh での USB ケーブルの取り外しは完了です。

3.3.2 eSATA ケーブルを取り外す／電源をオフにする

本商品に接続している eSATA ケーブルをお使いのパソコンから取り外すときは、必ず次の手順に従ってください。eSATA ケーブルの取り外し方法はお使いの環境によって異なります。

> 注意 本商品は、eSATA のホットプラグに対応していません。

1 パソコンの電源をオフにします。

2 本商品の電源ボタンを約 3 秒押して、電源をオフにします。

> 注意 本商品の電源をオフにするときは、前面の HDD アクセス LED が点滅していないことを確認してください。LED が点滅しているときに電源をオフにすると、ハードディスクのデータが破損するおそれがあります。

3 eSATA ケーブルを取り外します。パソコンの eSATA ポートから eSATA ケーブルを取り外します。

以上で、eSATA ケーブルの取り外しは完了です。

第４章
Q&A

この章では、困ったときの確認方法や解決方法を説明します。

4.1　トラブル対処の方法 68
4.2　Q&A 69
4.2.1　電源がオンにならない 69
4.2.2　電源が突然オフになった 69
4.2.3　本商品を認識しない 70
4.2.4　ハードディスクを認識しない 71
4.2.5　設定を間違えた 72
4.2.6　オートリビルド（自動再構築）時のトラブル 72

4.1　トラブル対処の方法

本商品を使っていて困ったときは、次のステップに従って対処方法を確認してください。

STEP1	**取扱説明書（本書）で設定を再確認する** **管理者などに問い合わせる**

それでも解決できないときは …

STEP2	**本章の「Q&A」を確認する** ☞ **P.69**「4.2.1　電源がオンにならない」 ☞ **P.69**「4.2.2　電源が突然オフになった」 ☞ **P.70**「4.2.3　本商品を認識しない」 ☞ **P.71**「4.2.4　ハードディスクを認識しない」 ☞ **P.72**「4.2.5　設定を間違えた」 ☞ **P.72**「4.2.6　オートリビルド（自動再構築）時のトラブル」

それでも解決できないときは …

STEP3	コレガホームページ（http://corega.jp/）の情報を活用する 本商品の最新情報、よくあるお問い合わせ、最新ファームなどを提供しています。

それでも解決できないときは …

STEP4	**コレガサポートセンタに問い合わせる** 連絡先は取扱説明書（本書）の裏表紙をご覧ください。

4.2　Q&A

よくあるトラブルと、その対処方法を説明します。

4.2.1　電源がオンにならない

電源がオンにならないときは、次の内容を確認してください。

現象	・電源がオンにならない ・Power LED が点灯しない
対処方法	電源ケーブルまたは AC アダプタに断線がないか、正しく接続されているか、正しい電源・電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。 それでも電源がオンにならないときは、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.79「保証と修理について」

4.2.2　電源が突然オフになった

突然本商品の電源がオフになったときは、次の内容を確認してください。

現象	① Power LED が点滅（青）になった ②突然電源がオフになった
対処方法	① Power LED が点滅（青）しているときは、PC 連動電源機能で本商品がスリープモードになっています。次のことを確認してください。 ・本商品を接続しているパソコンの電源がオフになっている ・本商品を接続しているパソコンが休止状態になっている ・本商品を接続しているパソコンがスリープ状態になっている ・本商品とパソコンを接続しているケーブルが抜けている ・本商品とパソコンを接続しているケーブルが断線している ☞ P.58「3.1　PC 連動電源機能を設定する」 ②本商品は電源ボタンでのみ電源をオン／オフできます。自動的にオン／オフはできません。次のことを確認してください。 ・電源ボタンが押されている ・本商品の電源プラグが電源コンセントから抜けている ・電源ケーブルまたは AC アダプタが抜けている ・電源ケーブルまたは AC アダプタが断線している ☞ P.38「2.6　本商品を接続する」 それでも本商品の電源ボタンを押して、Power LED が点灯しない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.79「保証と修理について」

4.2.3　本商品を認識しない

お使いのパソコンが本商品を認識しないときは、次の内容を確認してください。

現象	パソコンが本商品を認識しない
対処方法	本商品の接続を確認してください。 ・本商品の電源がオフになっている ・本商品のハードディスク固定用トレイのハードディスクが外れている ・本商品のハードディスク固定用トレイのコネクタが外れている ・USB ケーブル・eSATA ケーブル・eSATA ブラケットが抜けている ・USB ケーブル･eSATA ケーブル･eSATA ブラケットが断線している ・パソコンの USB ポート・eSATA ポートが無効になっている ☞ P.21 「**第２章**　設置と接続」 それでも本商品を認識しない場合は、本商品に問題がある可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.79 「保証と修理について」

4.2.4　ハードディスクを認識しない

ハードディスクを認識しないときは、次の内容を確認してください。

現象	本商品に取り付けたハードディスクを認識しない
対処方法	本商品の接続と設定を確認してください。 ・本商品のハードディスク固定用トレイのハードディスクが外れている ・本商品のハードディスク固定用トレイのコネクタが外れている ・ハードディスクモード設定スイッチが正しく設定されていない ・ハードディスクがフォーマットされていない ☞ P21「**第２章**　設置と接続」 それでもハードディスクを認識しない場合は、本商品またはハードディスクが故障している可能性があります。次の項目をご覧になり修理を依頼してください。 ☞ P.79「保証と修理について」

4.2.5　設定を間違えた

本商品の設定を間違えたときは、次の内容を確認してください。

現象	ハードディスクのモード設定・容量設定を間違えてしまった
対処方法	ハードディスクのモード設定・容量設定をし直す必要があります。設定をし直すと、ハードディスクのデータはすべて消去されますので、あらかじめお客様の責任においてデータをバックアップしてください。 ☞ P.32 「2.4 本商品を設定する」 再設定の手順について、詳しくはコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

4.2.6　オートリビルド（自動再構築）時のトラブル

現象	オートリビルド中に電源をオフにしてしまった
対処方法	再度本商品の電源をオンにすると、自動的にリビルドが再開します。リビルドが完了するまで（Rebuild LED が消灯するまで）お待ちください。リビルドには数時間かかる場合があります。 万が一ハードディスクが 2 台とも故障した場合は、正常にリビルドできません。 ☞ P.77 「■オートリビルド（自動再構築）について」

付録

本商品の仕様、保証や修理のご案内、コレガサポートセンタへの連絡先などを記載しています。

ハードディスクのモードとは 74
仕様一覧 78
保証と修理について 79

おことわり 81

ハードディスクのモードとは

本商品で設定できるハードディスクの構成の詳しい説明をします。

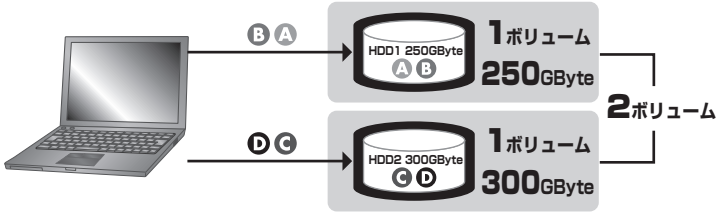
注意

- 本商品に取り付けるハードディスクのデータは、本商品を設定するときに消去されます。ハードディスクのデータは、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- 設定したモードを異なるモードに変更すると、ハードディスクのデータは消去されます。ハードディスクのデータは、お客様の責任において、あらかじめバックアップしておいてください。
- 一度設定したモードで構成したハードディスクが取り付けられた状態で、異なるモードに変更する場合は、取り付けるハードディスクを再フォーマットする必要があります。
- 2 台のハードディスクを使って 1 つのボリュームを構成する場合は、同一メーカ、同一型番のハードディスクをお使いください。

以降は、本商品で設定できる各モードを説明します。

■シングルモード

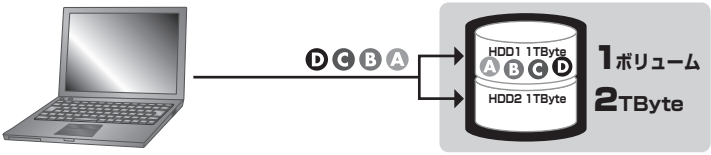
RAID や JBOD を設定しないで、1 台のハードディスクをそのまま 1 台のハードディスクとして使用できます。
本商品にハードディスクを 1 台のみ取り付ける場合は、このモードのみ使用できます。2 台のハードディスクを取り付けた場合は、独立した 2 台のハードディスクとして使用できます。1 台のハードディスクに障害が発生しても、もう 1 台のハードディスクに影響はありません。



図は、本商品に容量の異なる 2 台のハードディスクを取り付けたときの例を示しています。
パソコンからは、独立した 2 台のハードディスクとして認識されます。

■スパニングモード（JBOD）

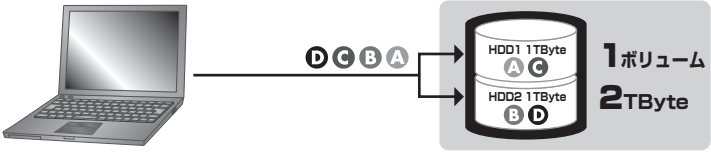
スパニングモードは JBOD（Just a Bunch Of Disks：ただのディスクの束）とも呼ばれ、複数台のハードディスクをひとまとめに束ねて 1 台のハードディスクとして使用します。
片方のハードディスクから順番にデータを書き込むため、読み書きの速度は 1 台のハードディスクのときと同じです。複数台のハードディスクを束ねて使用するため、1 台のハードディスクに障害が発生すると、すべてのデータを読み書きできなくなります。



図は、本商品に 1TByte のハードディスクを 2 台取り付けたときの例を示しています。
パソコンからは、2TByte のハードディスクとして認識されます。

■ストライピングモード（RAID 0）

ストライピングモード（RAID 0）は、複数台のハードディスクをひとまとめに束ねて 1 台のハードディスクとして使用します。
複数台のハードディスクに分散してデータを書き込むため、1 台のハードディスクのときよりも速く読み書きできます。複数台のハードディスクを束ねて使用するため、1 台のハードディスクに障害が発生すると、すべてのデータを読み書きできなくなります。



図は、本商品に 1TByte のハードディスクを 2 台取り付けたときの例を示しています。
パソコンからは、2TByte のハードディスクとして認識されます。

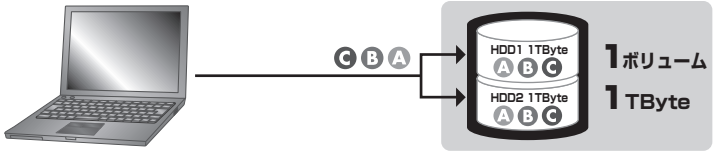
■ミラーリングモード（RAID1）

ミラーリングモード（RAID 1）は、複数台のハードディスクに同じデータを同時に書き込んで使用します。
複数台のハードディスクに同じデータを書き込むため、読み書きの速度は 1 台のハードディスクのときと変わりません。1 台のハードディスクに障害が発生しても、もう 1 台のハードディスクに同じデータがあるため、データを保護できます。
本商品のミラーリングモード（RAID 1）では、障害が発生したハードディスクを入れ替えて電源をオンにすると、オートリビルド（自動再構築）が始まり、RAID 構成を自動的に復旧します。

注意

- **2 台のハードディスクに障害が発生した場合は、データを復旧できません。**
- **リビルド中（Rebuild LED が点滅）は、本商品の電源をオフにしないでください。故障の原因となります。**

☞ P.77 「■オートリビルド（自動再構築）について」



図は、本商品に 1TByte のハードディスクを 2 台取り付けたときの例を示しています。
パソコンからは、1TByte のハードディスクとして認識されます。

■オートリビルド（自動再構築）について

本商品をミラーリングモード（RAID 1）で使用している場合、1 台のハードディスクに障害が発生しても、新しいハードディスクと入れ替えて電源をオンにすることで、自動的に RAID 構成を再構築します。
RAID 構成をリビルドしている間は、本商品前面の Rebuild LED が紫色に点滅します。
リビルドが始まったら、完了するまで（Rebuild LED が消灯するまで）必ずお待ちください。リビルドの完了時間は、取り付けたハードディスクの容量によって異なります。

> **注意** **リビルド中は本商品の電源をオフにしたり、AC アダプタを電源コンセントから抜いたりしないでください。故障の原因になります。**

仕様一覧

対応 PC		eSATA 端子、SATA 端子、USB 端子のいずれかを標準搭載した DOS/V パソコン、または USB 端子を標準搭載した Macintosh（Intel プロセッサ） ※SATA 端子を使用する場合は、付属の eSATA ブラケットをお使いください
対応 OS		Windows 7（64bit/32bit）/Vista（32bit）/XP（32bit）/2000、Mac OS X 10.4 以降
サポート規格	**SATA**	SATA（3.0Gbps、1.5Gbps）
	USB	USB 2.0/1.1 規格準拠
取得承認		VCCI クラス B
外部インタフェース	**eSATA**	接続ポート：eSATA（7 ピン）メス
		転送速度：3.0Gbps（理論値）
	USB	接続ポート：USB シリーズ B（4 ピン）メス
		転送速度：480Mbps（理論値）
内部インタフェース	**SATA**	接続ポート：SATA（7 ピン）メス ×2
		転送速度：3.0Gbps（理論値）
	電源	SATA 電源コネクタ（15 ピン）メス ×2
対応 HDD	**HDD 形状**	3.5 インチ（101.6（W）×146.6（D）×25.8（H）mm）
	接続可能台数	1 ～ 2 台
冷却ファン		あり
電源仕様（AC アダプタ）	**定格入力電圧**	AC100V（50/60Hz）
	定格入力電流	1.2A
	定格出力	34W
環境条件	**動作時**	温度 0 ～ 40 ℃／湿度 5 ～ 90%（結露なきこと）
	保管時	温度− 20 ～ 60 ℃／湿度 5 ～ 95%（結露なきこと）
外形寸法		63（W）×226（D）×145（H）mm 本体のみ（突起部を含まず）
質量		620g 本体のみ

保証と修理について

■保証について

「製品保証書」に記載されている「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するということではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。

本商品の保証期間については、「製品保証書」に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧いただき、正しく設定・接続できていることを確認してください。現象が改善されない場合は、コレガホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトのうえ、必要事項を記入したものと「製品保証書」および購入日の証明できるもののコピー（領収書、レシートなど）を添付し、商品（付属品一式とともに）をご購入された販売店へお持ちください。

修理をご依頼される場合は、次の点にご注意ください。

・弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、あらかじめご了承ください。

・「製品保証書」に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。

・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。

・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・修理完了後、本商品の設定は初期化状態（工場出荷時の状態）に戻りますので、あらかじめご了承ください。

■修理を依頼されるときの注意事項

・ **必ずハードディスクを取り外してください**

弊社に修理をご依頼される場合には、ハードディスクやほかの機器との接続ケーブル、および弊社保証の対象とならない部品などを、事前に本商品からお取り外しください。これらが本商品に付加された状態で弊社に引き渡された場合には、弊社ではこれらの管理について責任を負いかね、いったんお客様に返却させていただきます。

※なお、輸送中に生じたハードディスク、およびハードディスクに記憶されたデータの破損、汚損、紛失、そのほか弊社保証の対象とならない部品に関連して生じうる一切の損害については、その責任を負いかねます。

・ **保証期間内外・対象有無にかかわらず、故障の場合は新品良品との交換となります**

そのため、設定された内容はすべて初期化されます。

・ **お使いのハードディスクのデータは保証できません**

本体を修理交換後、修理前にお使いになっていたハードディスクを装着しても、データの保証はいたしかねますのでご了承ください。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入された販売店へお持ちください。下記 URL に有償修理価格が記載されていますのでご覧ください。

http://corega.jp/repair/

おことわり

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。
弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正、改訂することがあります。
また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。 VCCI-B

■輸出管理と国外使用について

・お客様は、弊社販売製品を日本国外への持ち出しまたは「外国為替及び外国貿易法」にいう非居住者へ提供する場合、「外国為替及び外国貿易法」を含む日本政府および外国政府の輸出関連法規を厳密に遵守することに同意し、必要とされるすべての手続きをお客様の責任と費用で行うことといたします。

・弊社販売製品は、日本国内仕様であり日本国外においては、製品保証および品質保証の対象外になり製品サポートおよび修理など一切のサービスが受けられません。

Copyright©2009　アライドテレシスホールディングス株式会社
corega は、アライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Macintosh、Mac OS は、Apple Inc. の登録商標です。
その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカの登録商標または商標です。

2009 年　8 月　　初版
2011 年 12 月　第二版

■コレガホームページのご案内

コレガホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

http://corega.jp/

■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際にはコレガホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メールまたは電話でお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【コレガサポートセンタ】

メールサポート：下記 URL をご覧ください。

http://corega.jp/faq/

電話　045-476-6268

〈受付時間〉

10：00 ～ 12：00、13：00 ～ 18：00　月～金（祝・祭日を除く）

※ サポート内容、電話番号など、予告なく変更する場合があります。最新情報はコレガホームページ（http://corega.jp/）をご覧ください。

※ 本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、日本語版 OS のみ動作を保証しています。そのため、日本語版 OS 以外のお問い合わせはお受けできませんのでご了承ください。

※ サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported only in Japanese.

※ 電話が混み合っている場合は、メールサポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

・商品名
・シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
・お名前、フリガナ
・連絡先電話番号、FAX 番号
・購入店
・購入日付
・お使いのパソコンの機種
・OS
・接続構成
・お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）

PRINTED WITH SOY INK　本書は再生紙を使用しています。